

報道発表資料
(教育同時)

令和 7 年 2 月 2 5 日

京 都 市 文 化 市 民 局

担当 文化芸術都市推進室
文化財保護課

電話 075-222-3130

令和6年度伝統行事・芸能功労者表彰

京都市では、文化観光資源の保全に係る普及啓発活動の一環として、公益財団法人京都市文化観光資源保護財団とともに、伝統行事・芸能功労者表彰制度を設け、功績のある方を表彰しています。

この度、令和6年度の被表彰者を決定し、表彰式を行います。

1 日 時

令和7年3月21日（金） 午前11時～11時30分（予定）

注）表彰式は、同財団の令和6年度通常理事会（午前10時30分～）終了後に
行うため、開始時刻が若干変更になることがあります。

2 場 所

ウェスティン都ホテル京都 4階 葵殿

（〒605-0052 京都市東山区栗田口華頂町1 電話 075-771-7111）

3 被 表 彰 者

被表彰者（別紙）12名

※写真データが必要な場合は文化財保護課まで御連絡ください。

4 次 第

京都市副市長挨拶

表彰状授与

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団理事長挨拶

記念撮影

5 出席者

京都市副市長 吉田良比呂

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団理事長 和田林道宜

ほか

6 問合せ先

公益財団法人京都市文化観光資源保護財団 電話 075-752-0235

(参考)

伝統行事・芸能功労者表彰制度

多年（原則として10年以上、年齢45歳以上）にわたり伝統行事や伝統芸能の保存執行に当たるとともにそれを広く一般に公開し、後継者の指導育成・道具類等の製作・修理等の技術修得などに功績のある方を表彰するもの

令和 6 年度

伝統行事・芸能功労者被表彰者名簿

年齢は令和 6 年 12 月 1 日現在（敬称略）

名 称	団体名（保存会）	氏 名	年齢	住 所	功 績
からすずもう 烏 相撲	からすずもうほぞんかいちょうようしゃ 烏 相撲保存会 重 陽 社	ももい ひでゆき 桃井 秀 幸	54	京都市北区	平成２２年９月から幹事に御就任、合わせ同時期より刀 拵・行事にも御就任されました。 幹事就任後は烏相撲全般の奉仕に務められるとともに、後 継者の育成指導にもあたられておられます。
にしのきょうずいきみこし 西ノ京瑞饋神輿	にしのきょうずいきみこしほぞんかい 西ノ京瑞饋神輿保存会	い き ひろ み 伊 祁 廣 実	76	京都市上京区	平成２３年に保存会に御入会され、令和３年から理事、令 和４年から子ども神輿巡行責任者を歴任されておられます。 瑞饋神輿に装着するわら細工の梅鉢の仕上げを長年担当さ れ、近年は１００人を超える子どもが参加する神輿の安全な 巡行を指揮されています。 また、巡行時の衣装管理、寄付集めなどの会計補佐に携わ り、保存会の運営を支えておられます。
み ぶ きょうげん 壬生 狂 言	みぶだいねんぶつこう 壬生大念佛講	さわい ほうせん 澤井 豊 泉	71	京都市右京区	京都に工房を持つ染織作家の方です。平成４年から欧米各 地で作品展を行い、令和５年には壬生寺で個展も開かれまし た。 平成２７年からは令和４年までほぼ毎年壬生狂言の衣装を 製作、奉納されておられます。 現在は令和７年１月に奉納予定の壬生狂言「安達ヶ原」の 衣装を製作されておられます。

名 称	団体名（保存会）	氏 名	年齢	住 所	功 績
きょうと ろくさいねんぶつ 京都の六斎念仏	くぜろくさいほぞんかい 久世六斎保存会	ほりかわ たつや 堀川 達也	59	京都市南区	昭和48年に久世六斎保存会に御入会され、平成21年から庶務、平成26年からは副会長を務めておられます。 8才で入会されて以来51年間にわたり保存会活動に尽力され、長年太鼓を担当されるとともに、衣装・道具の補修や浴衣の寸法直し、子供六斎の獅子衣装の製作など、御家族ともども保存会に助力を尽くされておられます。
きょうと ろくさいねんぶつ 京都の六斎念仏	ちゅうどうじろくさいかい 中堂寺六斎会	さかもと のりこ 坂本 典子	60	京都市下京区	平成7年当時3才の御長男が入会したことを機に世話役として関わられはじめました。年少者の着衣、狂言方の着付けや衣装の収納、管理全般に従事し、加えて小道具類の作製に25年にわたり尽力されました。 平成15年から女子会員の入会が認められたことを機に御入会され、精神的支柱として女性会員の活躍の道を開かれました。
きょうと ろくさいねんぶつ 京都の六斎念仏	かみ とばはしがみかねこうちゅう 上鳥羽橋上鉦講中	しおつ ゆうすけ 塩津 祐輔	47	京都市南区	上鳥羽橋上鉦講中は、唯一「空也堂系念仏六斎」を継承している保存会ですが、「念仏」ということもあり若い方が入って来られず常に後継者問題がありました。 そのような時期に御入講され、難しい念仏にも熱心に取り組まれ、平成27年からは上鳥羽六斎子供教室で指導や育成に尽力されておられます。 若手の中心的な役割を担われており、現在は副代表を務められています。

名 称	団体名（保存会）	氏 名	年齢	住 所	功 績
き の あたごじんじゃ 木野愛宕神社の え ぼ し ぎ 烏帽子着	き の あたご じんじゃ え ぼ し ぎ 木野 愛宕 神社 烏帽子 着 ぼぞんかい 保存会	さわら ぎ しんいち 榎 木 信 一	87	京都市左京区	岩倉木野町に生まれ、幼少時から木野愛宕神社の祭礼に参加して来られました。平成20年度から平成23年度まで氏子総代として祭礼と成人儀礼である烏帽子着の式典のすべて（成人者の人選、成人者の作法の指導、謡曲の練習、祭礼時の心得など）を取りまとめる大役を務めてこられました。 現在は氏子総代経験者として、後輩の指導を行っておられます。
いわくら ひ まつり 岩倉火 祭	いわくらじんじゃほうさんかい 石座神社奉賛会	いまい しげいち 今 井 繁 市	79	京都市左京区	24才から半世紀以上、石坐神社の氏子として火祭に参加され、大祭の主役ともいえる大松明製作に携わること実に53年にわたります。大松明の製作に必要な荒縄による結束法は、古来からの技法であり、そのすべてを会得しておられます。 町内の若衆にその技法を伝授することで伝統の継承に務められ、彼らからの信頼も厚いものがあります。
み す たいまつまつり 三栖の炬火 祭	み す きよかかい 三栖・炬火会	しまざき ゆき お 島 崎 仁 雄	70	京都市伏見区	三栖・炬火会設立時から30年以上にわたり祭礼の継承に尽力されてこられました。 そして長年にわたり、炬火の制作において資材の準備を滞りなく進められ、また制作初心者に対し、親切、丁寧に指導されてこられました。

名 称	団体名（保存会）	氏 名	年 齢	住 所	功 績
こやま やま かみ 小山の山の神	こやまにのこう 小山二ノ講	たけたに たけお 竹谷 武雄	77	京都市山科区	昨年から保存会の会則及び作業手順を作成して運営に尽力されておられます。 作業全般にわたって指導を担当され、平成１７年から大蛇作成作業に従事されておられます。 特に本年度は「ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会」主催の「第６回ふるさと講演会」の講師として二ノ講保存会の一年間の活動について御講演されました。
ごこうぐらさいれいじ し 御香宮祭礼獅々	ごこうぐら し し わかかい 御香宮獅々若会	たか み まさひで 高見 昌秀	63	滋賀県湖南市	６才から当行事に参加し、以後幹事、副幹事長を歴任され平成２１年から会計として従事されておられます。 また、半世紀以上にわたって当会の基となった木挽町青年団の活動に尽力され、平成１８年に発足した当会にも多大な貢献をされておられます。 木挽町青年団の頃から組織の中枢を担われ、伝統行事に対する豊富な知識を活かし運営はもとより後進の指導にもあたられておられます。
かみがももみじおんど 上賀茂紅葉音頭	かみがももみじおんどほぞんかい 上賀茂紅葉音頭保存会	やまだ ひろひこ 山田 博彦	77	京都市北区	平成７年に初稽古をされ、平成１５年には会長に就任されました。以降コロナ禍の３年間を除き毎年上賀茂神社境内で「紅葉音頭大踊り」を開催されておられます。 また、下鴨の保存会、修学院の保存会の方々と連携され、本年は下鴨の保存会と京都御苑内白雲神社で踊りを奉納されました。 上賀茂保存会独特の「ゆったりした優雅な踊り」を追求、研究され、保存執行に努めておられます。